

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所 東
コード番号 6145 URL https://nittoku.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹澤 純人
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048-615-2109
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	30,803	4.6	4,164	34.5	4,280	37.2	2,744	23.4
2023年3月期	29,461	4.8	3,096	7.3	3,119	3.0	2,224	△3.7

(注) 包括利益 2024年3月期 4,314百万円(52.5%) 2023年3月期 2,829百万円(△15.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	151.92	—	7.3	8.2	13.5
2023年3月期	123.10	—	6.4	6.6	10.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	56,785	39,770	69.4	2,182.00
2023年3月期	47,675	36,024	74.9	1,976.89

(参考) 自己資本 2024年3月期 39,420百万円 2023年3月期 35,715百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	525	116	1,195	14,503
2023年3月期	1,246	△392	△848	12,023

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	542	24.4	1.6
2024年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00	614	22.4	1.6
2025年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00		30.4	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	14.0	1,000	△39.8	1,000	△41.6	300	△72.8	16.61
通期	36,000	16.9	3,800	△8.8	3,800	△11.2	2,500	△8.9	138.38

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 — 社（社名）— 、除外 — 社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	18,098,923株	2023年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2024年3月期	32,575株	2023年3月期	32,246株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	18,066,484株	2023年3月期	18,066,909株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	22,139	△1.6	3,654	84.1	3,753	61.0	2,749	60.5
2023年3月期	22,500	2.3	1,985	16.0	2,330	22.3	1,712	19.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	152.17		—					
2023年3月期	94.80		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	41,086		28,705		69.9	1,588.90		
2023年3月期	34,078		25,888		76.0	1,432.95		

(参考) 自己資本 2024年3月期 28,705百万円 2023年3月期 25,888百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	10,000	△3.1	1,700	△2.1	1,400	16.8	77.49	
通期	25,000	12.9	3,750	△0.1	2,850	3.7	157.75	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2024年5月31日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表及び主な注記	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20
5. その他	22
(1) 生産、受注及び販売の状況	22

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年4月1日～2024年3月31日)における世界経済の情勢は、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化に伴う地政学的リスクの高まり、不動産不況等に伴う中国経済の低迷、資源・エネルギー価格の上昇、世界的なインフレ圧力の残存といった影響が懸念される中、回復ペースが鈍化し、不確実性が高い状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境においては、緩和的な金融環境が民間需要の下支えとなる中、SDGsに関連したGHG削減、省人化・DX化、サプライチェーンの強靱化、モビリティの電動化・電装化・安全化にあつては、それらに必要な製品開発・製造はもとよりその生産システムまでトータルに取り組むことが必要になり、生産設備の自動化・高度化・高品質化のための最先端の設備投資が世界的な黎明期を迎えております。

当社は、ユーザーごとの生産ラインの効率化や要求された品質を実現させる「ラインビルダー」として、ユーザーの生産システム全体の設計・構築に技術・アイデアを提供しております。また、グローバル人材の育成により、海外拠点の営業・生産・サービス提供レベルを向上させ、ユーザーのニーズ・ウォンツを的確に捉えた「生産技術の代行」と、ユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進いたしました。

また当期は、フィリピン現地法人の新設や、ベトナム現地法人の支店をホーチミンに開設するなど、東南アジアを中心に海外拠点のサービスサポート体制を充実させました。

近年は、SDGs対応やESG経営が求められるようになったことから、当社は省資源・省材料・省電力・省スペース・高生産性・高安全性等を実現する生産システムをユーザーに提供しており、地球環境や国際社会への貢献にも努めております。

以上の結果、当社グループにおける連結売上高は308億3百万円(前期比4.6%増)、営業利益は41億64百万円(前期比34.5%増)、経常利益は42億80百万円(前期比37.2%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は27億44百万円(前期比23.4%増)となりました。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりであります。

(ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当社は、搬送システム上に巻線・ハンドリング・組立・検査等の工程を搭載し、独自開発のOSにより高機能多軸同期制御が可能な生産システムを提供することで、世界市場におけるユーザーの競争優位性の向上に資するビジネスモデルを追求しております。ユーザーごとに創出される固有のニーズやウォンツにスピーディーに対応し、オープンイノベーションによるユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進する「ブルーレイク戦略」をグローバルに推進することによって、既存領域の深化に留まらず、周辺事業領域の探索を積極的に進めております。この成果として、自動車向けのコンデンサやモジュールの組立ライン等、巻線工程を含まないメカトロニクス事業の領域が広がっております。

昨今の急速なデジタル化の進展によるデバイスやツール等の高性能化・高度化に伴い、当事業においては、当社は従来の「生産設備メーカー」から、ユーザーの生産システム全体の設計・構築に技術・アイデアを提供し、巻線の前後工程を含む工程全体の生産効率化や品質向上に貢献する「ラインビルダー」へと変化を遂げております。生産システムの大型化・複雑化に伴い、近年は高額かつ新規要素を多く含む案件の受注が増加していることから、採算性にも配慮が必要となりますが、当期においては、技術ノウハウの蓄積、受注時の精緻な擦り合わせ、生産効率化、原価低減、付加価値向上等により、こうした案件についても利益確保が実現でき、また加えて、外貨建て案件において為替影響がプラスに働きました。

これらの結果、全売上高の約92%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業においては、連結売上高は、283億65百万円(前期比6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、44億8百万円(前期比36.7%増)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は、183億46百万円(前期比22.9%減)、売上高は、197億2百万円(前期比0.5%減)、当期末の受注残高は、185億80百万円(前期比6.8%減)となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

当期においては、非接触ICカードの売上高は堅調に推移した一方で、生産ライン管理用のFAタグや電池タグの売上高は、当期は前期に比べ一服感が見られました。

これらの結果、連結売上高は、24億37百万円（前期比10.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、7億86百万円（前期比2.5%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は、20億60百万円（前期比15.3%減）、売上高は、24億37百万円（前期比10.0%減）、当期末の受注残高は、5億93百万円（前期比38.9%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

①資産の分析

流動資産は前連結会計年度末対比70億91百万円増加し、391億93百万円となりました。これは主として、仕掛品が23億41百万円、受取手形及び売掛金が19億35百万円、現金及び預金が11億86百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比20億18百万円増加し、175億91百万円となりました。これは主として、投資有価証券が8億78百万円、建物及び構築物（純額）が5億82百万円、機械装置及び運搬具（純額）が1億70百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比91億9百万円増加し、567億85百万円となりました。

②負債の分析

流動負債は前連結会計年度末対比30億50百万円増加し、135億23百万円となりました。これは主として、契約負債が16億64百万円、未払法人税等が10億4百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比23億13百万円増加し、34億91百万円となりました。これは主として、長期借入金金が15億84百万円、繰延税金負債が4億83百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比53億64百万円増加し、170億14百万円となりました。

③純資産の分析

純資産合計は前連結会計年度末対比37億45百万円増加し、397億70百万円となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末対比24億79百万円増加し、145億3百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5億25百万円（前連結会計年度は12億46百万円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益が42億80百万円、減価償却費が9億34百万円、契約負債の増加が14億62百万円あったものの、売上債権の増加が24億44百万円、棚卸資産の増加が29億40百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1億16百万円（前連結会計年度は3億92百万円の支出）となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入が21億21百万円、保険積立金の払戻による収入が5億61百万円あったものの、定期預金の預入による支出が9億49百万円、有形固定資産の取得による支出が6億65百万円、保険積立金の積立による支出が6億11百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は11億95百万円（前連結会計年度は8億48百万円の支出）となりました。これは主として、長期借入れによる収入が20億円あったものの、配当金の支払が5億78百万円あったことによるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、当社は引き続き「ブルーレイク戦略」を推進してまいります。さまざまな業種の生産技術を代行するため、当社が築き上げた生産システムのプラットフォームに他社の特殊技術を取り入れ、また「ラインビルダー」として前後工程も含めた一貫生産ラインを、スピーディーにグローバルに提供いたします。

モビリティ業界においては、HV/EVなど乗用車の電装化・安全化の進展が継続し、高度化の流れは商用車や二輪車、船舶、建設機械にも広がりを見せています。当社は、モータ・電子部品分野を中心に設備の高度化・高速化・高品質化を推進するとともに、精密技術・搬送技術等を応用し、電池・半導体分野をはじめとする新たな事業領域に向けた各種自動機・システム機への展開を推進いたします。

今年4月に、国内では、自動化専用機械の設計製作メーカーである株式会社アステクノスを子会社化し、また欧州では、電気測定・検査機器関連のノウハウを有するAPI社を欧州現法の子会社とするなど、これらM&Aに伴うシナジー効果により、ビジネス・業容の拡大を積極的に図ってまいります。

当社は地球環境と国際社会の持続的な成長に貢献するトータル精密FAメーカーとして、SDGs、脱炭素、5Gといったデジタル化、グリーン化を目的とするメガトレンドから生じるビジネスチャンスを掴み、大型設備投資や先端の設備投資のニーズに応えてまいります。

今後も継続的な利益の創出を実現し、社会課題の解決を通じた持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めてまいります。

次期の通期業績見通しといたしましては、将来的な新製品の導入・拡大を企図した開発案件の占める割合が当期1割程度から次期4割程度に増加する見込みであることから、売上高360億円（前期比16.9%増）、営業利益38億円（前期比8.8%減）、経常利益38億円（前期比11.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益25億円（前期比8.9%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を適用して財務諸表を作成しております。IFRSの任意適用につきましては、将来の適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備並びに適用時期について検討を進め、適切に対応いたします。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,842	15,028
受取手形及び売掛金	4,975	6,910
電子記録債権	1,756	2,514
有価証券	—	301
仕掛品	8,753	11,094
原材料及び貯蔵品	1,950	2,702
その他	833	713
貸倒引当金	△9	△72
流動資産合計	32,102	39,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,549	5,132
機械装置及び運搬具（純額）	869	1,039
土地	2,803	2,811
その他（純額）	742	700
有形固定資産合計	8,964	9,683
無形固定資産		
その他	114	181
無形固定資産合計	114	181
投資その他の資産		
投資有価証券	4,113	4,991
退職給付に係る資産	568	681
繰延税金資産	47	46
その他	1,764	2,006
投資その他の資産合計	6,494	7,726
固定資産合計	15,573	17,591
資産合計	47,675	56,785

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,890	1,913
電子記録債務	2,623	2,105
未払法人税等	197	1,201
契約負債	3,785	5,450
賞与引当金	630	722
1年内返済予定の長期借入金	—	399
その他	1,344	1,730
流動負債合計	10,472	13,523
固定負債		
長期借入金	—	1,584
退職給付に係る負債	19	1
繰延税金負債	702	1,186
その他	455	719
固定負債合計	1,178	3,491
負債合計	11,650	17,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,535	2,528
利益剰余金	22,555	24,722
自己株式	△28	△29
株主資本合計	31,948	34,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,575	2,178
為替換算調整勘定	1,873	2,846
退職給付に係る調整累計額	319	289
その他の包括利益累計額合計	3,767	5,314
非支配株主持分	309	349
純資産合計	36,024	39,770
負債純資産合計	47,675	56,785

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	29,461	30,803
売上原価	21,496	20,874
売上総利益	7,964	9,929
販売費及び一般管理費	4,867	5,764
営業利益	3,096	4,164
営業外収益		
受取利息	55	101
受取配当金	60	62
その他	157	126
営業外収益合計	273	290
営業外費用		
支払利息	12	32
為替差損	28	91
その他	209	50
営業外費用合計	250	174
経常利益	3,119	4,280
特別損失		
投資有価証券評価損	52	—
特別損失合計	52	—
税金等調整前当期純利益	3,067	4,280
法人税、住民税及び事業税	503	1,281
法人税等調整額	306	255
法人税等合計	809	1,536
当期純利益	2,258	2,744
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	34	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,224	2,744

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	2,258	2,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	276	603
為替換算調整勘定	326	997
退職給付に係る調整額	△31	△30
その他の包括利益合計	570	1,570
包括利益	2,829	4,314
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,785	4,290
非支配株主に係る包括利益	43	23

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,884	2,535	21,054	△27	30,447
当期変動額					
剰余金の配当			△722		△722
親会社株主に帰属する当期純利益			2,224		2,224
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社の増資による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,501	△0	1,500
当期末残高	6,884	2,535	22,555	△28	31,948

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,298	1,556	351	3,206	265	33,919
当期変動額						
剰余金の配当						△722
親会社株主に帰属する当期純利益						2,224
自己株式の取得						△0
連結子会社の増資による持分の増減						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	276	316	△31	561	43	604
当期変動額合計	276	316	△31	561	43	2,105
当期末残高	1,575	1,873	319	3,767	309	36,024

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,884	2,535	22,555	△28	31,948
当期変動額					
剰余金の配当			△578		△578
親会社株主に帰属する当期純利益			2,744		2,744
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社の増資による持分の増減		△7			△7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△7	2,166	△0	2,158
当期末残高	6,884	2,528	24,722	△29	34,106

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,575	1,873	319	3,767	309	36,024
当期変動額						
剰余金の配当						△578
親会社株主に帰属する当期純利益						2,744
自己株式の取得						△0
連結子会社の増資による持分の増減						△7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	603	973	△30	1,546	40	1,587
当期変動額合計	603	973	△30	1,546	40	3,745
当期末残高	2,178	2,846	289	5,314	349	39,770

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,067	4,280
減価償却費	862	934
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	60
賞与引当金の増減額 (△は減少)	108	78
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△46	△19
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△94	△156
受取利息及び受取配当金	△116	△163
為替差損益 (△は益)	△21	△62
補助金収入	△71	△26
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3	△2
固定資産除却損	157	8
投資有価証券評価損益 (△は益)	52	—
売上債権の増減額 (△は増加)	264	△2,444
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△245	△2,940
仕入債務の増減額 (△は減少)	29	△625
契約負債の増減額 (△は減少)	△2,243	1,462
その他	223	316
小計	1,924	699
利息及び配当金の受取額	115	156
利息の支払額	△12	△32
法人税等の支払額	△851	△325
補助金の受取額	71	26
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,246	525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,470	△949
定期預金の払戻による収入	2,633	2,121
有形固定資産の取得による支出	△227	△665
有形固定資産の売却による収入	26	18
無形固定資産の取得による支出	△23	△96
投資有価証券の取得による支出	△202	△302
投資有価証券の売却による収入	12	40
保険積立金の積立による支出	△522	△611
保険積立金の払戻による収入	381	561
投資活動によるキャッシュ・フロー	△392	116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	—	△16
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△722	△578
その他	△125	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△848	1,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	250	642
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	255	2,479
現金及び現金同等物の期首残高	11,768	12,023
現金及び現金同等物の期末残高	12,023	14,503

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分に関する意思決定を行い、かつ、業績評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」「非接触ICタグ・カード事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

ワインディングシステム&メカトロニクス事業セグメントは、巻線機、巻線システム及び周辺機器の製造、販売及び保守サービスを行っております。非接触ICタグ・カード事業セグメントは、ICタグ・カード及びインレットの製造並びに販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	26,752	2,709	29,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	26,752	2,709	29,461
セグメント利益	3,224	767	3,991
セグメント資産	31,269	2,580	33,850
その他の項目			
減価償却費	678	91	770
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	490	85	575

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	28,365	2,437	30,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	28,365	2,437	30,803
セグメント利益	4,408	786	5,195
セグメント資産	37,746	2,560	40,307
その他の項目			
減価償却費	758	81	839
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,455	134	1,590

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,991	5,195
全社費用(注)	△894	△1,030
連結財務諸表の営業利益	3,096	4,164

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	33,850	40,307
全社資産(注)	13,825	16,477
連結財務諸表の資産合計	47,675	56,785

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに投資有価証券であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	770	839	92	94	862	934
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	575	1,590	2	33	578	1,623

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社の設備関連であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	北中南米	ヨーロッパ	全体
11,801	6,260	5,973	1,255	4,170	29,461

(注1) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) なお、個別の製品輸出売上高は10,910百万円となっております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	北中南米	ヨーロッパ	全体
14,858	3,856	4,154	2,457	5,476	30,803

(注1) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) なお、個別の製品輸出売上高は7,829百万円となっております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
8,236	1,447	9,683

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,976円89銭	2,182円00銭
1株当たり当期純利益	123円10銭	151円92銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	2,224百万円	2,744百万円
普通株主に帰属しない金額	－百万円	－百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	2,224百万円	2,744百万円
普通株式の期中平均株式数	18,066,909株	18,066,484株

(重要な後発事象)

当社は、2024年3月1日開催の取締役会において、2024年4月1日を効力発生日として、株式会社アステクノス（静岡県静岡市）の株式を取得し子会社化することを決議し、2024年3月4日付けで株式譲渡契約を締結しております。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社アステクノス

事業の内容 専用機械設計製作及び治具加工、制御盤設計製作、人材派遣事業

②企業結合を行った主な理由

同社は、自動化専用機械の設計製作を行うメーカーであり、主力の自動車関連業界のほか、食品・飲料業界や医療・化粧品業界等に対し、多様な生産設備を提供しており、子会社化することにより、モータ・インバータ・バッテリー関連を主軸とした車載部品業界向け大規模生産設備のモノづくり体制拡充・技術開発強化・販路拡大。国内における東海地域、海外における北米地域の拠点拡充による当社グローバル体制の更なる強化のシナジー効果を想定しております。

③企業結合日

2024年4月1日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

名称に変更はありません

⑥取得した議決権比率

100%

⑦被結合企業の直前事業年度の財政状態及び経営成績

現時点においては確定しておりません。

⑧取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,000百万円
取得原価		1,000百万円

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,650	7,123
受取手形	76	34
売掛金	3,538	4,658
電子記録債権	1,614	2,299
有価証券	—	301
仕掛品	6,507	8,065
原材料及び貯蔵品	1,005	1,312
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	20	15
その他	485	406
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	18,894	24,211
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,780	3,606
構築物	122	105
機械及び装置	455	533
車両運搬具	7	10
工具、器具及び備品	151	158
土地	2,542	2,541
建設仮勘定	256	323
有形固定資産合計	7,315	7,279
無形固定資産		
ソフトウェア	53	103
その他	11	2
無形固定資産合計	65	106
投資その他の資産		
投資有価証券	3,772	4,658
関係会社株式	650	766
関係会社出資金	1,568	1,568
関係会社長期貸付金	50	534
保険積立金	1,552	1,588
その他	207	373
投資その他の資産合計	7,802	9,489
固定資産合計	15,183	16,875
資産合計	34,078	41,086

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	404	402
買掛金	1,117	1,110
電子記録債務	2,623	2,105
未払金	313	449
未払法人税等	25	980
前受金	2,188	3,565
賞与引当金	423	512
1年内返済予定の長期借入金	—	399
その他	375	336
流動負債合計	7,471	9,860
固定負債		
長期借入金	—	1,584
長期未払金	194	194
繰延税金負債	461	679
その他	62	62
固定負債合計	717	2,520
負債合計	8,189	12,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金		
資本準備金	2,542	2,542
資本剰余金合計	2,542	2,542
利益剰余金		
利益準備金	202	202
その他利益剰余金		
別途積立金	2,200	2,200
繰越利益剰余金	12,527	14,698
利益剰余金合計	14,930	17,101
自己株式	△28	△29
株主資本合計	24,329	26,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,558	2,205
評価・換算差額等合計	1,558	2,205
純資産合計	25,888	28,705
負債純資産合計	34,078	41,086

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	22,500	22,139
売上原価	17,165	14,899
売上総利益	5,335	7,240
販売費及び一般管理費	3,350	3,585
営業利益	1,985	3,654
営業外収益		
受取利息及び配当金	351	69
為替差益	72	—
補助金収入	16	18
保険事務手数料	17	18
その他	70	35
営業外収益合計	529	141
営業外費用		
支払利息	—	1
為替差損	—	6
減価償却費	17	12
投資事業組合運用損	11	7
保険解約損	8	14
その他	147	1
営業外費用合計	183	43
経常利益	2,330	3,753
特別損失		
投資有価証券評価損	52	—
特別損失合計	52	—
税引前当期純利益	2,278	3,753
法人税、住民税及び事業税	245	1,033
法人税等調整額	320	△29
法人税等合計	565	1,004
当期純利益	1,712	2,749

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	11,537	13,940
当期変動額							
剰余金の配当						△722	△722
当期純利益						1,712	1,712
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	990	990
当期末残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	12,527	14,930

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△27	23,340	1,275	1,275	24,616
当期変動額					
剰余金の配当		△722			△722
当期純利益		1,712			1,712
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			283	283	283
当期変動額合計	△0	989	283	283	1,272
当期末残高	△28	24,329	1,558	1,558	25,888

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	繰越利益 剰余金	
				別途積立金			
当期首残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	12,527	14,930
当期変動額							
剰余金の配当						△578	△578
当期純利益						2,749	2,749
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	2,171	2,171
当期末残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	14,698	17,101

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△28	24,329	1,558	1,558	25,888
当期変動額					
剰余金の配当		△578			△578
当期純利益		2,749			2,749
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）			646	646	646
当期変動額合計	△0	2,170	646	646	2,816
当期末残高	△29	26,499	2,205	2,205	28,705

5. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）の生産・販売品目は多種多様であり、同種の製品であっても、その容量、構造、形式等は必ずしも一様ではなく、セグメントごとに生産規模及び受注規模を金額あるいは数量で示すことが適当ではないと判断し、当社個別ベースの数字を示しております。

このため、生産及び受注の状況については、「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」における各セグメントの業績に関連づけて、当社個別ベースの数字で示しております。また、販売の状況については、「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」における各セグメントの業績に同じく関連づけて、従来どおり連結ベースの数字で示しております。